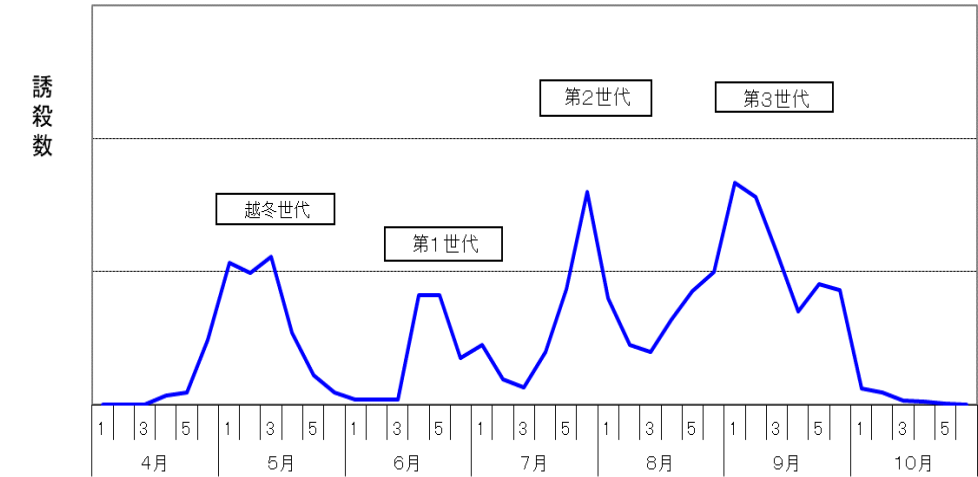


# スモモヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病虫害防除部

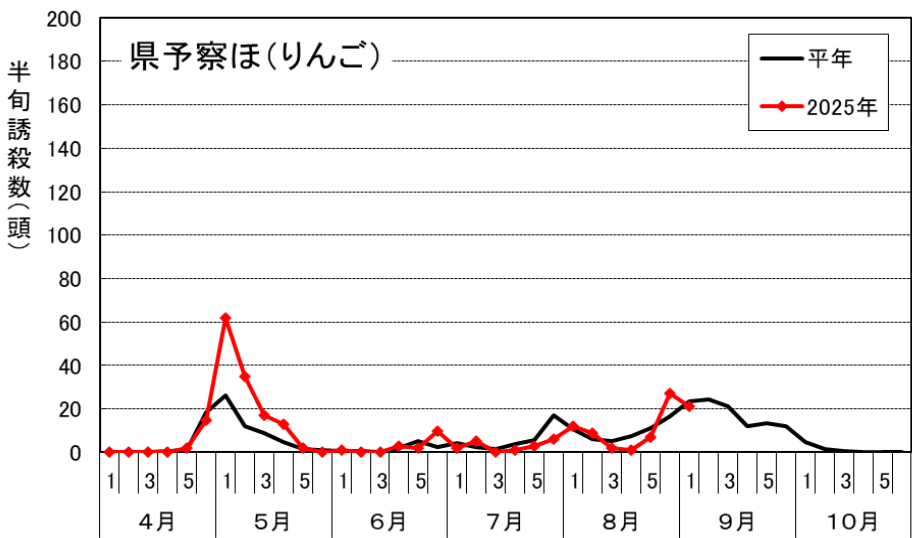
過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



## 【発生生態と防除のポイント】

- ・年3～4回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月下旬～5月上旬、第1世代成虫は6月下旬～7月上旬、第2世代成虫は7月下旬～8月上旬、第3世代成虫は9月上旬に発生する。
- ・日本すももは、第1世代、第2世代の卵及びふ化幼虫の防除を行う。
- ・防除適期はそれぞれ5月上旬～6月上旬、6月下旬～7月中旬であり、10～14日間隔で防除する。
- ・りんごは、第3世代の卵及びふ化幼虫を対象に、8月中旬頃から5～7日間隔で防除する。

## ○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



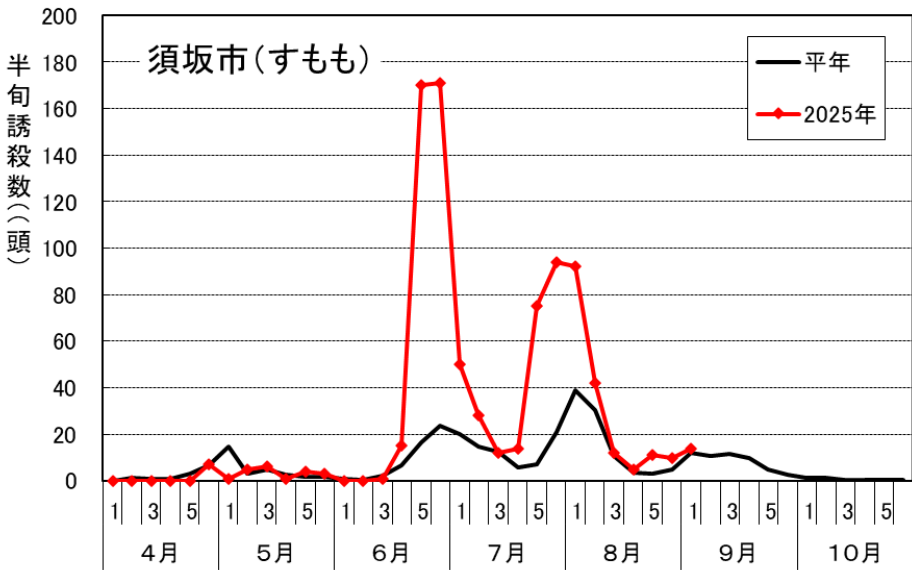
## 【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

## 【コメント】

- ・発生消長（誘殺数の増減時期）はほぼ平年と同じである。
- ・8月第4半旬を過ぎて第3世代成虫の誘殺が増え始め、平年よりやや早くピークを迎えた。

## ○須坂市（病虫害防除部）



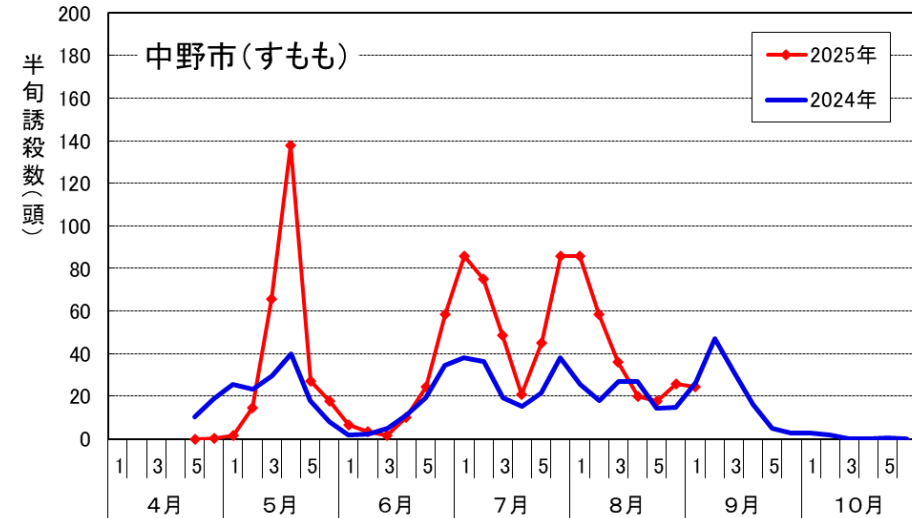
## 【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（日本すももほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

## 【コメント】

- ・7月後半から8月前半の第2世代成虫の誘殺数は平年の約4.5倍とかなり多かった。第3世代成虫の誘殺は、平年よりやや早く8月第4半旬に始まっているが、誘殺数の今のところほぼ平年並である。

## ○中野市（※北信農業農村支援センター調査協力）



## 【調査地点】（標高約 350m）

- ・中野市（日本すももほ場）
- ・2024年からほ場を変更したため、平年値なし。

## 【コメント】

- ・第2世代成虫の誘殺は8月の頭がピークで、第5半旬に最小となった。
- ・第2世代成虫の誘殺終了後の8月第6半旬からすぐに誘殺数が増加し始めた。第3世代成虫の誘殺ピークへ向かうと推察されるが、9月第1半旬時点では誘殺数は横ばいとなっている。